

MIYATEEN

Vol.4



M E N U

- シェフのおすすめ (おすすめ本) p 2・3
- 本日のコース (ジャンル別おすすめ本) p 4・5
- デザート (YES/NOクイズ) p 6・7
- シェフのこだわり・シェフ紹介 (編集後記) p 8

シエフのおすすめ



これだけは読んでほしい いちおし本14冊

『青い鳥』

重松清/著 新潮社

村内先生は中学の臨時講師。言葉がつかえてうまくしゃべれない。でも、先生は授業より大切なことを教えてくれる。

いじめ、自殺、学級崩壊、児童虐待…。すべての孤独な魂にそっと寄りそう感動作。



感想

表紙に載っている英文を読了後に読むと深みが増して、ちょっと得をした気分になります。内容のわりに説教臭くないので、ぜひ!
(栞野優)

『紅茶を注文する方法』(文庫)

土屋賢二/著 文藝春秋

お茶の水女子大学の哲学科名誉教授ツチャ先生が送る、哲学とはあんまり関係ないエッセイ集。口癖は「あー」「うー」で、趣味はジャズピアノ、周囲の人間には尻に敷かれている。様々な危険が伴う紅茶の正しい注文方法を解説した表題をはじめとする大爆笑の56篇が、著者自身が書いたイラストとともに収録されている。



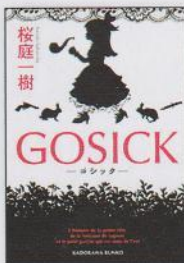
感想

読んでいると思わず笑い声が漏れ、周囲に好奇の目で見られつつも「ツチャ中毒」になる可能性がある。本編はもちろん、解説や著者紹介まで、まさに文字通り「読み尽くしたい」本。まえがきだけでも読んでほしい。
(本の虫)

『GOSICK』(文庫)

桜庭一樹/著 角川書店

前世紀初頭、ヨーロッパの小国ソヴェールに極東の島国から留学した久城一弥は、聖マルグリット学園の図書館塔で奇妙な美少女・ヴィクトリカと出会う。彼女の頭脳は学園の難事件を次々解決してゆく。ある日二人は豪華客船に招待され、そこで本物の殺人事件に遭遇してしまう。



感想

ヴィクトリカと久城君のやりとりがとてもおもしろくて、かわいらしいです。推理はもちろんですが、この二人の関係が巻数を重ねていくごとに強い絆と信頼ができてくるのを読むのがすごくおもしろいです。
(マイクロセンチメートル)

『偉大なる、しゅららぼん』

万城目学/著 集英社

主人公日出涼介は琵琶湖の「湖の民」として特殊な力を与えられた者として、修行するために日出本家で過ごすことになる。そして涼介が通う学校には、日出本家の跡継ぎと、日出家に対立する棗家の長男が同じクラスになる。千年にもわたる因縁の関係である両家が待ち受ける未来とは…。



感想

現実離れた内容なのですが、すごく引き込まれました。登場人物も個性豊かで読んでいて飽きません。最後の方では、予想もなかった展開だったので、一気に読んでしまいました。それくらいおもしろかったです。
(マイクロセンチメートル)

『十角館の殺人』(文庫)

綾辻行人/著 講談社

九州の孤島にある「十角館」に大学ミス터리研究会の7人が訪れる。待ち受けていたのは連続殺人。



感想

なにぶん、登場人物の名前が特徴あるので、少々びっくりします。トリックとどんでん返しには、ものすごくびっくりします。
(文月郁)



『深夜特急』(文庫)

沢木耕太郎/著 新潮社文庫

著者は26歳のある日、インドのデリーから約2万キロ離れたイギリスのロンドンへの旅をしようと思いつく。日本から飛行機で発つと、香港・マカオへ寄り道しつつも、旅の出発点デリーへ降り立った。デリー出発時の所持金は1900ドル。主に乗り合いバスを乗り継ぎユーラシアを放浪した、「青春」の旅行記。



感想

実は香港とマカオへ寄り道している著者。思いつくままに進んだ先の、多種多様かつ魅力的な人々や文化との出会いがとても瑞々しく、どんどん読んでしまう。「こんな旅、いつか行ってみたい」と思うこと間違いなし。
(本の虫)

『天国の本屋』

松久淳/著 かまくら春秋社

アロハシャツのおじいさんに紹介されたアルバイト…。
それはこの世ではない天国の本屋だった…!



感想

天国には本屋も喫茶店も小さな公園もあるんです。あなたも天国の本屋に行きたくなるはず…。恋だってあるんですよ…。(めるめる)

『日本近代建築の歴史』(文庫)

村松貞次郎/著 岩波書店

幕末・明治維新から高度経済成長に至るまで、人々は何を取り入れ、何を捨ててきたのかを建築を通して考えてみる。



感想

現在、東京駅の復元が行われています。この本を読んで、そういう話題を身近に感じていただけたら良いです。(文月郁)

『覆面作家は二人いる』

北村薫/著 角川書店

姓は《覆面》、名は《作家》——。この人をつくったペンネームをもつミステリ作家の正体は、天国的な美貌を持つ19歳の新人、新妻千秋である。彼女の担当になった岡部良助は邸宅を訪れ、千秋が深窓の令嬢だと知るが、さらに名探偵という隠れた一面もあることを知り…。



感想

館の内外的な千秋の変化の様も面白いのですが、それ以前に彼女のキャラクター自体が可笑しく、とても楽しいです。(栞野優)

『夢十夜・他二篇』(文庫)

夏目漱石/著 岩波書店

この本は、夏目漱石が実際に見た夢をもとに書かれた、十篇の短編小説で構成されています。



感想

大体の短編が、スッキリしない終わり方をしています。是非、そのモヤツと感を楽しんで下さい。短編なので、読みやすいと思います。(仁希)

『舟を編む』

三浦しをん/著 光文社

玄武書房に勤める馬締光也は営業部では変人として持て余されていたが、新しい辞書『大渡海』編纂メンバーとして辞書編集部を迎えられる。言葉という絆を得て、辞書の世界に没頭する彼らの人生が優しく編み上げられていく。しかし、問題が山積みの辞書編集部。果たして『大渡海』は完成するのだろうか——?



感想

2012年本屋大賞受賞作。その肩書きにふさわしい内容に思える。個性的な登場人物にも注目だ。普段何気なく使っている、重くて分厚い紙の辞書にも、裏側にある情熱を知ると、どこか愛着が湧くのではないか。(はさみうちの定理)

『夜の国のクーパー』

伊坂幸太郎/著 東京創元社

この国は戦争に負けたのだそうだ。占領軍の先発隊がやってきて、町の人間はそわそわ、おどおどしている。戦争に負けるのがどういことなのか、町の人間は経験がないからわからない。人間より寿命が短いから、猫の僕だって当然わからない。これは猫と戦争と、そして何より、世界の秘密のおはなし。



感想

人間にとって言葉を操るはずのない猫が喋るというファンタジーのような物語に引き込まれて、気がついたら読み終わっていた。軽く読み進められるのに、心には何か暖かいものが確かに残っているんだから不思議だ。(はさみうちの定理)

『Run!Run!Run!』

桂望実/著 文藝春秋

駅伝に毎日捧げてきた少年が日々を通して、人の交わりや自身と向き合うことで、成長していく青春ストーリー。



感想

だれもが今までに何かしら打ちこんだことがあるでしょう。そんな自分のやりたい駅伝、そしてオリンピックに向けてまっしぐらの優。8年間の体調管理の日記とトレーニングがその証だった彼が、かけていたモノ、それを教えてくれる彼の部員仲間。自分もまたスポーツを始めたい作品です。(めるめる)

『六百六十円の事情』(文庫)

入間人間/著

アスキー・メディアワークス刊 メディアワークス文庫

世の中には、いろんな人たちがいる。それぞれの“事情”を持つ彼らが描く恋愛&人生模様は、ありふれているけど、でも当人たちにとっては大切な出来事ばかりだ。そんな彼らが、ある日ひとつの糸で結ばれる。とある掲示板に書き込まれた「カツ丼作れますか?」という一言をきっかけに。



感想

その辺りに転がっていきそうな恋や日常が書かれた群像劇です。人と人とがどどんつなっていく様子が楽しめると思います。非常にほのぼのとしていて、ストーリーに大きな起伏はありませんが、読むとなんだか元気が出ます。(仁希)

本日のコース

こだわり素材を7つのジャンルに厳選!!

『チョコレート・アンダーグラウンド』

アレックス・シアラー/著 求龍堂

禁制品となったチョコレートを取り戻そうとする二人の少年の話。

シェフの
つがやき

この本を読むと、食べ物のありがたさや食べることがどんなに楽しいかを
教えられると同時に、必ずチョコレートが食べたくなくなります。(文月郁)

冒険



『ぼくたちと駐在さんの700日戦争』(文庫)

ママチャリ/著 小学館

男子高校生と町の駐在さんが繰り広げるイタズラ合戦。

シェフの
つがやき

彼らの繰り広げる「イタズラ」は「イタズラ」なんてそんなかわいいもんじゃないと思うが、読んでいて爽快。これが(半分)実話なんて信じられない!(はさみうちの定理)

『狐笛のかなた』

上橋菜穂子/著 理論社

「聞き耳」という能力がある少女が、ひょんなことから二つの国の争いに巻き込まれるという和風ファンタジー。

シェフの
つがやき

普段、読むことのないジャンルの本で、おすすめされなければ、出会うことができなかったと思います。物語の中に入りやすく、ずらずら読めます。(文月郁)

SF
ファンタジー

『夏への扉』

ロバート・A・ハインライン/著 小尾英佐/訳 早川書房

人生がうまくいっていたダン…。しかし仕事にも恋人にも裏切られた時、彼が愛猫ピートと共にとった行動がミラクルなおはなし。

シェフの
つがやき

冷凍睡眠、タイムマシン…。ダンの運命はどうなるのかと考えるとワクワクが止まりません。猫好きさんにもオススメしたい一冊です。(めるめる)



『街の灯』

北村薫/著 文藝春秋

舞台は昭和初期、上流家庭の花村家に女性運転手がやってきて…。

シェフの
つがやき

細部まで行き届いた緻密な構成の日常ミステリを満喫出来ます。相性ピッタリのホームズ&ワトソンで送る不思議な事件の数々はとても面白いですよ!(栗野優)

推理

『マスカレードホテル』

東野圭吾/著 集英社

超一流ホテルを舞台に、今、華麗な戦いが幕をあける!

シェフの
つがやき

仮面舞踏会の名のおとり、正体を隠した怪しい宿泊客が、つぎつぎにやってくる。スリリングな展開に胸が躍ります。ラストの衝撃をみなさんも確かめてください!(栗野優)

『ビブリア古書堂の事件手帖』(文庫)

三上延/著 アスキー・メディアワークス刊 メディアワークス文庫

不思議な事件を呼び込むのは一冊の古書。これは「古書と秘密」の物語。

シェフの
つがやき

物語の中に実在する別の本が登場するため、本好きにはたまらない一冊だろう。探偵ばりに古書にまつわる謎を解く美人な古書店主に茫然自失。(はさみうちの定理)



夕陽



『ボクの音楽武者修行』(文庫) 小澤征爾/著 新潮社

24歳の著者の欧米への一人旅を語った、自伝的なエッセイ。

シェフのつがやき

スクーター一台で見知らぬ土地へ行き、四苦八苦しながら生活する中で得られる新鮮な経験。お手軽な今の海外旅行にはない旅の面白さがある。(本の虫)

『魂のピアニスト』(文庫) フジコ・ヘミング/著 新潮社

ピアニストのフジコ・ヘミングが自らの波乱万丈な人生をふりかえり記した自伝。

シェフのつがやき

つらいこともいっぱいあったけれども、ポジティブに生きていく姿に感動しました。是非、フジコさんの演奏を聴いてみてください。(文月郁)

『家日和』 奥田英朗/著 集英社

夫婦を題材にしたビター&スイートな短編集です。

シェフのつがやき

気軽に読める。でも、ちゃんと考えさせられる。ユーモアがたっぷり含まれていて、くすりと笑ってしまいます。じーんと心に残る余韻を楽しんでください!(菜野優)

家族

『ヒア・カムズ・ザ・サン』 有川浩/著 新潮社

物に残った記憶を読み取る力をもった青年が体験する物語二編。

シェフのつがやき

たった7行の文から発想を広げて作られた、世にも不思議な、なんとも温かな家族のお話です。おまけもついて一挙両得。読まなきゃソンです!(菜野優)



『ビタミンF』 重松清/著 新潮社

一時の輝きを失い、人生の“中途半端”な時期に差しかかった人たちに贈るエール。

シェフのつがやき

紹介文のように本には書いてあったが、高校生の自分が読んで、心があたたかくなった感じがした。親との距離が分からなくなったら読むと答えが見つかるかも。(はさみうち)の定理)

『深夜の弁明』(文庫) 清水義範/著 講談社

新聞の投書欄、旅行記、解説などをパステリーシュした短編集。

シェフのつがやき

『三流コピーライター養成講座』や、『欠目戸街道を巡る』などがオススメ。そこら中にある文章の文体を面白可笑しく模写していて、飽きることがない。(本の虫)

短編

『蹴りたい背中』(文庫) 綿矢りさ/著 河出書房新社

19歳の書いた、クラスの余り者の「にな川」と「私」の物語。

シェフのつがやき

高校に入って友達が居なくなった「私」の内面が書かれているのだが、寂しさのはげ口となっている「にな川」のオリちゃんへの感情の変化も見たい。(本の虫)

『彼女のこんだて帖』(文庫) 角田光代/著 講談社

涙あり、笑いあり、そしてふと胸つまる時もある、傑作短編集。

シェフのつがやき

一つ一つはごく短い短編ですが、ほんわかとした幸福感をたっぷり味わうことができました。巻末にレシピが載っているので、活用してみてもいい?(菜野優)



『わからなくなってきました』(文庫) 宮沢章夫/著 新潮社

ちょっとずれた視点から見る日常を書き綴ったエッセイ。

シェフのつがやき

日常のちょっとしたことから面白い展開になり、どうしてもクスクスと笑ってしまう。第3章は本の紹介にもなっているので、読む本がなくなった人にも。(本の虫)

アラカルト

『空中ブランコ』 奥田英朗/著 文藝春秋

ある総合病院の精神科のお医者さんとさまざまな悩みを抱える患者さんのおはなしです。

シェフのつがやき

空中ブランコの天才フライヤーでも、モデルさんでも、ヤクザさんでも悩みはあるんです。一緒に伊良部先生に会いに行きませんか?(めるめる)

『かわいそうだね?』 綿矢りさ/著 文藝春秋

本音のこぼれる瞬間を捉えた珠玉の作品です!

シェフのつがやき

痛快なラストに「よくぞやってくれた!」と言いたくなる表題作。屈折した友情の先に見える光が美しい2作目。生々しいのに清々しい。はまります!(菜野優)



デザート



最後にもう一冊いかがですか？

お進みください。気分のままに——

Q 青春ものが好き？

Q 恋愛ものが好き？

Q ノンフィクションが好き？

Q 本を読むのが好き？

Q 実写化したものが見たい？

Q 映像化したものなら見たい？

Q ゲームのノベライズなら読む？

YES

NO





『girls in love』

ジャクリーン・ウィルソン/著 尾高 薫/訳 理論社
どこの国でも女の子の恋の悩みは同じ?シリーズあります。



『植物図鑑』

有川 浩/著 角川書店
あま〜い恋愛小説。小説の中のでてくる野草料理はおいしそう。



『面白南極料理人』(文庫)

西村 淳/著 新潮社文庫
平均気温-57℃の南極越冬日記。日本でも役立つ南極料理レシピ付き。



『星新一ショートショート1001』

星 新一/著 新潮社
「ショートショート」という分野を作った星新一の作品集。一つの物語は2・3分で読めます。



『三毛猫ホームズ』シリーズ

赤川次郎/著 角川書店
何度もドラマ化されている小説。刑事より猫の方が大活躍?



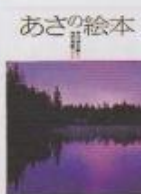
『おおかみこどもの雨と雪』(文庫)

細田 守/著 角川書店
2012年に公開されたアニメ映画のノベライズです。



『小説ドラゴンクエスト』シリーズ

高屋敷英夫/著 スクウェア・エニックス
(c)HIDEO TAKAYASHIKI
(c) 1986 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/CHUNSOFT/
SQUARE ENIX All Rights Reserved.
あの有名なゲームの小説です。



『あさの絵本』

谷川俊太郎/文 吉村和敏/写真 アリス館
写真集のような絵本です。ながめているだけで癒されます。

シェアのこだわり

7人の精鋭に本棚の並べ方について聞きました。
上位、3位はこのようになりました。
それでは、ランキング、どうぞ！！

1 本の大きさ → 文庫や新書など

2 雑多 → 視界に入ったものから、よく読むものからなど

3 作者別 → 五十音順など

他 ジャンル、本のタイトル、出版社などがありました。

みなさんは、
どのように
並べていますか？



シェア紹介



はさみうちの定理

- ① 編集長
- ② 宇都宮女子高等学校

世界が広がったような、
そんな気がしました。

しありのゆう 葉野優

- ① 副編集長
- ② 宇都宮北高等学校

紹介本を選ぶのが
難しかったですが、
楽しかったです。

ふづいく 文月郁

- ① 書記
- ② 宇都宮短期大学附属高等学校

2回目の参加でも
慣れませんでした。



本の虫

- ① 書記
- ② 宇都宮高等学校

今年も原稿に苦労しました。
もっと紹介したい本が
たくさんあります。

にこ 仁希

- ① イラスト
- ② 宇都宮短期大学附属高等学校

今回は同級生が
多かったので
やりやすかったです。

めるめる

- ① イラスト
- ② 宇都宮海星女子学院高等学校

本との出会いは
新しい自分との出会い

マイクロセンチメートル

- ① とりまとめ
- ② 宇都宮海星女子学院高等学校

はじめての経験ですが、
とても楽しかったです。

ペンネーム

- ① 担当
- ② 学校

ひと言感想

編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？
次号Vol.5でも高校生編集委員を募集します。本好きの高校生の皆さん、ぜひご参加ください！
詳しくは中央図書館まで。

読めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

宇都宮の高校生のための情報誌

Vol.4

MIYATEEN

発行 平成25年1月 編集 MIYATEEN編集委員

ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231